

【取組内容②】インターネット上にアップした自作の教材や実験動画による、生徒の主体的な学びの充実

授業スライド	「理科の部屋」	実験動画
<p data-bbox="253 394 471 434">授業スライド</p>  <p data-bbox="200 946 537 1048">既習内容の確認 欠席者の補充</p>	<p data-bbox="877 394 1083 434">理科の部屋</p>  <p data-bbox="799 946 1136 1048">既習内容の確認 欠席者の補習</p>	<p data-bbox="1495 394 1663 434">実験動画</p>  <p data-bbox="1302 946 1831 1048">生徒が実験手順や結果の 確認</p>

- ・ YouTubeに授業スライドや実験動画、学習プリント等をアップ。手軽に活用できるように短い時間の動画にまとめた。
- ・ 生徒が必要に応じて、自分で判断し、実験手順や結果の確認したり既習内容を確認したりする際に利用。また、欠席者の補充にも使えるようにした。

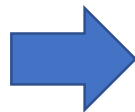
【取組内容④】 ICTを活用した生徒情報の共有による、校内支援センター機能の充実

上記：生徒情報の表示画面
右記：生徒情報入力画面

相談室登校、不登校傾向の生徒の情報を共有するためのスプレッドシート・ディスプレイを設定

- ・各教員の端末や親機から、生徒のその日の学校生活の動きや約束を入力する。
- ・生徒の情報を教員全員が共有し、だれが対応しても同じ対応がとれる状況を生み出す。
- ・対応した教員が、その時の状況を入力し、教員全体でその日のことを共有し、翌日の動きに反映できるようにする。

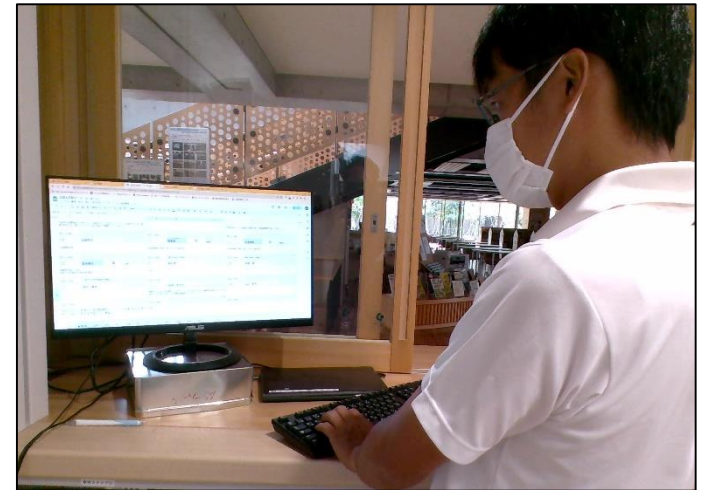
全教員が
生徒情報を把握



生徒に目を向ける
意識の向上

「今日、〇〇さんは〇〇をするんだね」「〇〇さんが、△△を頑張っていましたよ」などの声上がり、関係生徒の情報を無意識に共有することにつながった。その結果、担当教員だけでなく、様々な教員が関わることによる多面的な関わりが生まれ、様々な情報共有ができるようになった。

◆口頭による伝達がなくなり、
情報の共有が図られる。



生徒への対応後、対応した内容や生徒の状況を入力し、全教員が共有できるようにしている。